

人感スイッチ

人感スイッチを正しくお使いいただくために

人感スイッチの機能

人感スイッチは、人物などが動いたときの温度変化を検知して動作するスイッチです。

スイッチの待機状態では検知エリア内の温度を常に感知しており、人物の動きなどにより検知エリア内の温度が変化したことを検知するとスイッチをONします。

検知後一定時間(調整可能)が経過すると自動的にOFFします。動作中に再検知すると、再検知から設定時間後にOFFします。また、周囲が明るいときは照明を点灯させないようにできる照度切換の機能があります。

約3度以上の温度差で検知します。

人感スイッチは通常の歩行速度で移動する人を検知する様に設計されています。極端に速いスピードや静止した場合は検知エリア内でも反応しない場合があります。人以外のもの(小動物や自動車などの通行)でも動作します。トイレ用は一般的な人感スイッチより人の動きが小さくても検知するように設計されています。

センサー部は複眼レンズになっています。複眼レンズの焦点間には死角があるため、検知エリア内でも検知しない箇所があります。(複眼レンズではなくフレネルレンズを使用している商品もあります)

照度切換機能について

- 人感スイッチには照度切換の機能があります。周囲が明るいときは照明を点灯させないようにできます。
- 照度切換スイッチ
「切」→周囲の明るさに関係なく、人感センサーが動作します。
「入」→一定の明るさになったとき、人感センサーが動作します。
- 動作照度は、機種により設置場所の状況に見合った照度に設定されています。
- 「入」「切」のほかに「明」「暗」の切換が可能な機種もあります。

動作時間設定について

- 動作時間は、人感スイッチがONしてから自動的にOFFするまでの時間です。
- 動作時間中に再度検知したときは、最後に検知した時点から設定した動作時間が経過した後にOFFします。
- 検知エリア内に人がいて人の動きを検知できる間はOFFにはなりません。検知エリア内から人がいなくなった後に設定時間が経過してはじめてOFFします。
- 換気扇遅動機能付の場合、換気扇は設定時間+約5分間動作します。

その他の動作

- 電源を投入してから、正常動作になるまでに約30秒+動作設定時間分かかります。その間は照明が点灯状態になります。(停電復帰後も同じです)

交換時期は8年から10年が目安

人感スイッチの交換時期は約8年から10年が目安です。(1日約30回点滅を想定しています)

ご使用環境やご使用状況により、寿命が短くなる場合があります。

性能維持・確認のため定期的な点検をお薦めします。点検・交換の際はお近くの電気工事店へご相談ください。

機能を維持するためのご注意

- 浴室等の湿度の高い場所には使用できません。
- ブレーカのトリップテストなどで負荷側を短絡しないでください。故障の原因となります。
- レンズカバーには塗装、貼り紙などしないでください。検知不良や誤動作の原因になります。
- スイッチの表面に故意に水や薬品、洗剤などをかけないでください。

普段のお手入れのしかた

- レンズカバーが汚れると検知し難くなる場合があります。レンズカバーが汚れた場合は乾いたきれいな布で拭き取るか、水気をよく絞った布で拭き取ってください。
- ランプ交換や照明器具のお手入れの際は、必ず手動スイッチを「切」にしてください。(感電や事故の原因となります)

人感スイッチ

配線器具

WIDE i / CS
住宅用配線器具

センサースイッチ
ご案内

人感スイッチ
屋内壁付用

人感スイッチ
親子式

人感スイッチ
換気扇連動

人感スイッチ
屋外壁付用

タッチレス
スイッチ

LED
コントルクス

コントルクス
白熱灯用

LEDご使用時の
ご注意

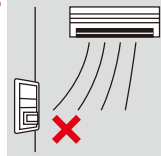
設置に適さない場所

検知エリア内に急激な温度変化が発生する場所 → 人がいなくても検知してしまい、照明が点灯・消灯を繰り返すことがあります。

- ストープなどの暖房器具や調理器具の真上やその付近



- エアコンなどの送風口のそばや送風の当たった場所



- 照明器具の付近
(照明器具と人感スイッチ検知部は50cm以上はなして設置してください。)



- ドアの開閉などにより外気が急激に入るような場所
(気密性の高い建物の通風口や窓の近くなど)

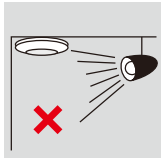


- ゆれるモノや動くモノなどがある場所
(カーテン・木陰など)

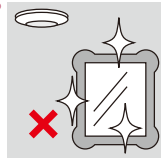


センサーの誤作動を引き起こす場所 → 人がいなくても検知してしまい、照明が点灯・消灯を繰り返すことがあります。

- 検知面に直接強い光や、日光が当たる場所



- 検知エリア内に鏡、ガラス、金属板など反射物がある場所



- 強力な電気雑音の入る場所
- アマチュア無線や携帯電話などのアンテナ近くで強力な電波が発生する場所。

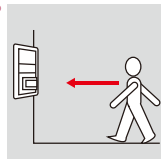


人の動きを検知しにくい場所 → センサーの特性上、検知しづらいことがあります。

- 人の動きが少なく静止しているような場所
(トイレ等は微動検知タイプをご使用ください)



- 人感スイッチに向かってくる方向に人が動く場所



- 周囲の気温が体温に近い場所
(夏の高温時、冬にコート等が外気で冷やされている場合等)



検知できない場所 → 人の動きが検知できません

- 検知したい場所との間にガラスなどの遮蔽物がある場所

使用中に誤動作や検知できないと感じたら

- 人感スイッチを取り付けている周辺の環境が設置に適さない場所にあたらぬか確認してください。
(取付場所の環境が以前と変わっていないか確認してください。季節によっても環境条件が変化することがあります)
- エリア面が汚れると検知しにくくなります。その際は、検知面をやわらかい布で清掃してください。
(清掃の際、薬品等は使用しないでください)
- 検知エリア外でも、熱変化の大きいものがある場合検知することがあります。(自動車等)

組み合わせる負荷(照明器具)について

- 次のような負荷はご使用いただけません。また機種によって使用できる負荷に制限があります。組合せをご確認のうえ、スイッチを選定してください。
- 照明器具、(一部換気扇用の商品を除く)以外には使用できません。
 - HID照明器具は使用できません。(HID照明器具:短時間の点滅では、HID器具は正常に点灯しません。)
 - 特殊機能付照明器具(調光機能・リモコン機能付など)には使用できません。
 - 蛍光灯器具を使用した場合、照明器具や人感スイッチ内部の雑音抑制コイルのうなり音が聞こえることがあります。
 - 適合負荷については商品ページおよび78~81ページの一覧表をご確認ください。

LED電球またはLED照明器具をお使いの際は、104ページのご注意もご確認ください。